

研修視察報告書

令和 6年 1月 9日

[会派名： 清風クラブ]

代表者氏名	坂本 直司	印	記録者氏名	常俊 朋子	印
視察者氏名	坂本直司・福田博行・小林勝・常俊朋子				
視 察 日	令和 5年 10月 17日 (月)				
視 察 先	名張市立つつじが丘小学校				
目 的	1. つつじが丘小学校における教育的指導 2. 教職員連携事例 3. コロナ禍後の取組				
視察概要					
<p>まず、つつじが丘小学校栢森校長から、本日の日程説明を伺い、2限目の授業を参観するために、各クラスを巡回させていただきました。その後、校長室にてプロジェクターを活用しながら、つつじが丘小学校の現状や教育理念などについて説明を受け、質疑応答となりました。</p> <p>1. 教育的指導について</p> <p>① つつじが丘小学校の教育目標は、「ゆたかに・いきいき・つつじっ子」を掲げ、夢と希望を持って生き生きと自発的に活動する児童を目指しています。</p> <p>② つつじが丘小学校は、南中学校区としてコミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育を名張市で最初に取り組みされた学校です。三重県教育委員会、文部科学省等からも視察があり、地域の皆さんがボランティアとしても早くからサポートしてくださっている学校で、私たちが授業を参観しても自然体で接してくれました。</p> <p>③ 栢森校長先生は、三重大学で講師として指導もされた経験がおありで、教育的指導の難しさや、若い教員へのアプローチなど、難しさと、やりがい、また、子どもたちのために学びの支援者として、如何に指導者の個性を引き出すかという点をご説明いただきました。</p> <p>④ 不登校児童や、個性豊かな児童への対応についても、学校としての「居場所づくり・絆づくり」を進められています。</p> <p>⑤ GIGA スクールの取組として、一人1台タブレットの活用についても、電子黒板の利活用を始め、一人一人の進捗状況や、全体の把握等、有効に活用されているところを拝見することができました。</p> <p>⑥ インターネットの活用としては、オーストラリアの小学校との交流で、英語のスキルを上げるなど、日本の伝統文化の再認識とグローバルな視野を広げる取組などもされています。</p>					

⑦ 常に心がけていることは、「安心して登校でき、満足して下校できる学校である」とお話しいただきました。

⑧ 学校でのソーシャルワーカーの役割が大きくなってきている中で、支援する人材不足を感じているとのことでした。

2. 教職員連携事例

① 教職員の連携としては、副担任の配置に取り組みながら、経験豊かな教員の授業を体験し、子どもたちの興味・関心の引き方などを、実践から学ぶ形で連携を深めているとのことでした。実際に、体育の授業が終わってから若い先生が先輩教員に質問されているところを拝見しました。

② また、教科担任制を導入するなど、小中一貫教育としての役割を構築されています。

③ さらには、「ARR(見通し・行動・振り返り)」を導入し、教職員のスキルアップにも努めていらっしゃいました。

3. コロナ禍後の取組

① マスクがなかなか外せない児童もいる中で、マスク着用・非着用も大丈夫というスタンスで、のびのびと過ごせるように配慮しているとのことでした。

② 学校行事も細心の注意を払いながら、県外活動にも取り組んでいるようです。

③ コロナだけでなく、感染症対策として手洗い・うがいの励行は続けているとのことでした。

④ まだまだ不安を抱えている児童も見られるところであり、感染症対策等にも寄添いながら、取り組まれています。

